

# 吉田町の概要と 防災対策の取組

静岡県吉田町

# 吉田町の概要



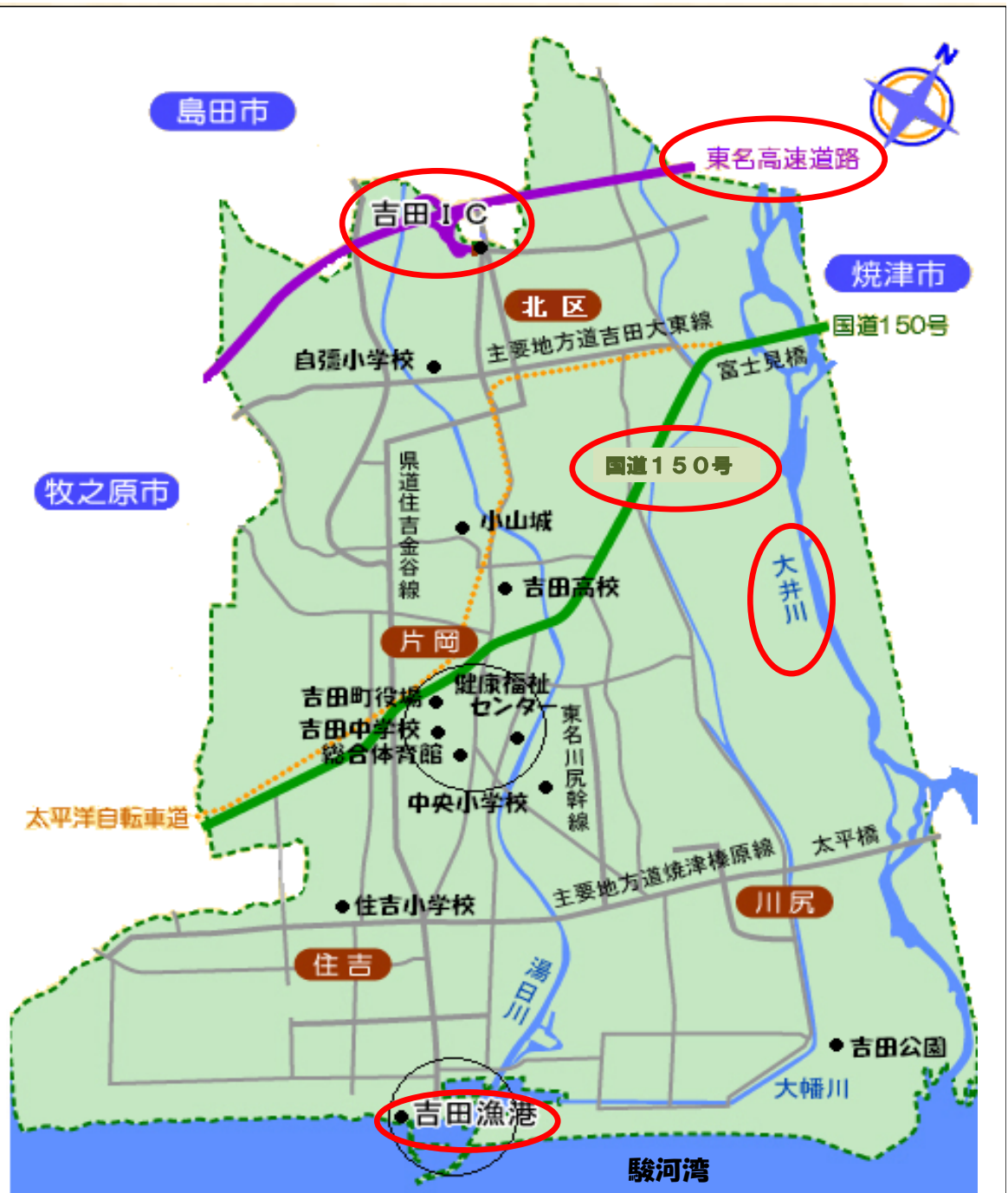
人口 **30,532人**  
(平成24年3月末日現在)

面積 **20.84km<sup>2</sup>**

東西 **6.5km**

南北 **6.9km**

吉田海岸 **約5km**



# 吉田町の防災対策

## 想定する地震は

一刻も早く町民様に津波の危険性を周知するため  
町独自で津波ハザードマップを作成しました。

1000年間隔単位で起こる地震の例として、1498年明応東海地震の津波がある。津波ハザードマップ作成で用いる想定地震としては、明応の津波が適当である。

発生間隔	設定波源
100年に1度位の間隔で生じる津波	中央防災会議の想定東海+東南海津波、もしくは安政東南海津波
1000年に1度位の間隔で生じる津波	明応東海地震津波(1498年)

## 津波浸水計算の特徴

吉田町の地形を 10mメッシュ で表現し、求めた明応地震の震源モデルを与えて数値計算を行った。

- (1) 標高データとして、航空レーザ測量成果を活用。
- (2) 河川を地形に反映。海岸の防潮堤を考慮。  
漁港の周りの防潮堤は壊れるとした。
- (3) 地震発生時の潮位として平均的な満潮位を設定。
- (4) 解析項目
  - ・最大浸水深
  - ・海域での第一波到達時間
  - ・陸域での津波到達時間
  - ・水位の時間変化グラフ
  - ・津波到達高さ

# 1000年に一度の大津波を想定した 吉田町津波ハザードマップ

平成23年11月作成

## 1000年に一度の大津波とは

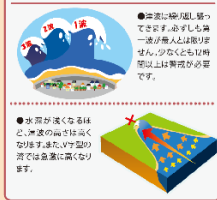
駿河トラフから南海トラフでは、ほぼ100年間隔で地震と、それに伴う津波が発生しています。その中で1707年宝永津波、1854年安政東南海津波、1944年昭和東南海津波では駿河湾内で10mを超える津波記録はありません。これに対し1498年明応地震による津波は、西伊豆で10mを超える津波記録が複数見られ、先に挙げた3つの津波よりも明らかに大きな津波です。ここでは、今後の東日本大震災による津波が同程度高さを約1000年を隔てて起きた巨大津波であることに対応させ、1498年明応地震による津波を「1000年に一度の大津波」と表現しました。

## 避難場所一覧

地区	名称	住所	避難人数(人)
津波	津波小学校	住吉 2243	3.4
	中央公民館	住吉 88-1	7.9
	中央体育館	住吉 186-1	6.1
	吉田小学校	住吉 238	9.0
	児童センター	住吉 1567	3.3
	体育センター	住吉 3367-4	3.2
	体育会館	住吉 1567	3.3
	住吉コミュニティ相談センター	住吉 5297-4	2.6
	文芸会館	住吉 1629-1	3.6
	あやめ体育館	住吉 3299-15	2.8
川	中央小学校	川尻 858-1	7.0
	川尻会館	川尻 1623	3.3
	川尻小学校	川尻 2138	3.3
	すまね体育館	川尻 1625	3.1
	吉田高等学校	川尻 2139	10.0
	健康福祉センター	川尻 795-1	7.0
	川尻会館	川尻 2488-1	8.8
	下村体育館	川尻 1241-3	2.9
	オカリ体育館	川尻 805-1	6.7
	総合体育館(あまのり)	川尻 1966-1	7.1
山	紅蓮会館	山崎 404	11.2
	中央体育館	山崎 805-5	7.1
	デイサービスひまわりの家	山崎 2082-2	6.9
	山崎小学校	山崎 1748-2	15.4
	山崎会館	山崎 2167-2	15.0
	山崎福祉センター	山崎 2099-1	13.5
	山崎西会館	山崎 3124-1	23.3
	大塚会館	大塚 1142	16.1
	わかば体育館	山崎 2082-1	14.5
	山崎コミュニティセンター	山崎 2171-1	15.1

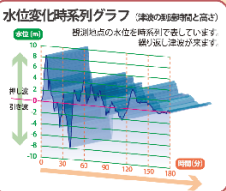
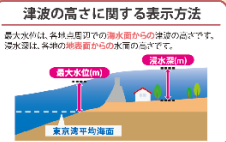
上記以外の指定避難場所もありますが、今後の地震発生に伴う状況変化を踏まえてください。

## 津波の特徴



- 津波は押し寄せ、引いていきます。必ずしも津波が無人区は限りません。少なくとも12時間以上は警戒が必要です。
- 水深が浅くなるほど、津波の高さは高くなります。7m以上の津波は多数の高さになります。

津波到達時間とは、地震発生から津波による浸水深が50cmに達するまでの時間を表しています。



# 津波高

町想定  
8.6m

南海トラフの巨大地震  
モデル検討会  
(内閣府 H24.3.31公表)  
8.7m

### 津波に関する凡例

- 避難場所 (避難人数)
- 児童センター
- 体育センター
- 体育館
- 公民館
- 学校
- 公園
- その他

### 土砂災害の凡例

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害警戒区域外
- 土砂災害警戒区域外

### 津波に関わる凡例

- 第一波到達時間
- 津波到達時間
- 水位変化時系列グラフ
- 避難場所
- 公園
- 学校

### 浸水深の凡例

10m

0m

濃い

薄い

### 地図の凡例

- 市界
- 町界
- 村界
- 支庁界
- 国界
- 海
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 電線
- その他

0 200 400 600 800 1000m

1:14000 (A2判出力時縮尺)





# 想定浸水深・浸水面積

浸水深	浸水面積	浸水区域の割合
0～1m未満	0.87km <sup>2</sup>	吉田町面積 20.84km <sup>2</sup>  <u>41.3%</u>
1～2未満	1.66km <sup>2</sup>	
2～3未満	1.72km <sup>2</sup>	
3～4未満	1.73km <sup>2</sup>	
4～5未満	1.38km <sup>2</sup>	
5～6未満	0.86km <sup>2</sup>	
6～7未満	0.25km <sup>2</sup>	
7～8未満	0.11km <sup>2</sup>	
8～9未満	0.03km <sup>2</sup>	
9～10未満	0.002km <sup>2</sup>	
合計	<u>8.61km<sup>2</sup></u>	

※浸水区域人口：約17,000人(55%)

# 「防災行政ラジオ」希望する全世帯へ無償配布 「FMコミュニティ放送吉田中継局」整備

**目的:**災害時における防災情報及び緊急を要する行政情報等の迅速かつ的確な情報伝達手段の充実を図る。

- 機能:**
- ①吉田町防災行政無線(同報無線)を受信する簡易型戸別受信機。  
AM・FMラジオを聞いていても強制的に同報無線に切り換わる。
  - ②コミュニティ放送である「FM島田」の放送を町内全域で受信できるように吉田中継局(3/29開設)を整備したことで、災害支援情報や大井川流域のコミュニティ情報が受信できる。



**9,800台配備**

# 今後の取り組み

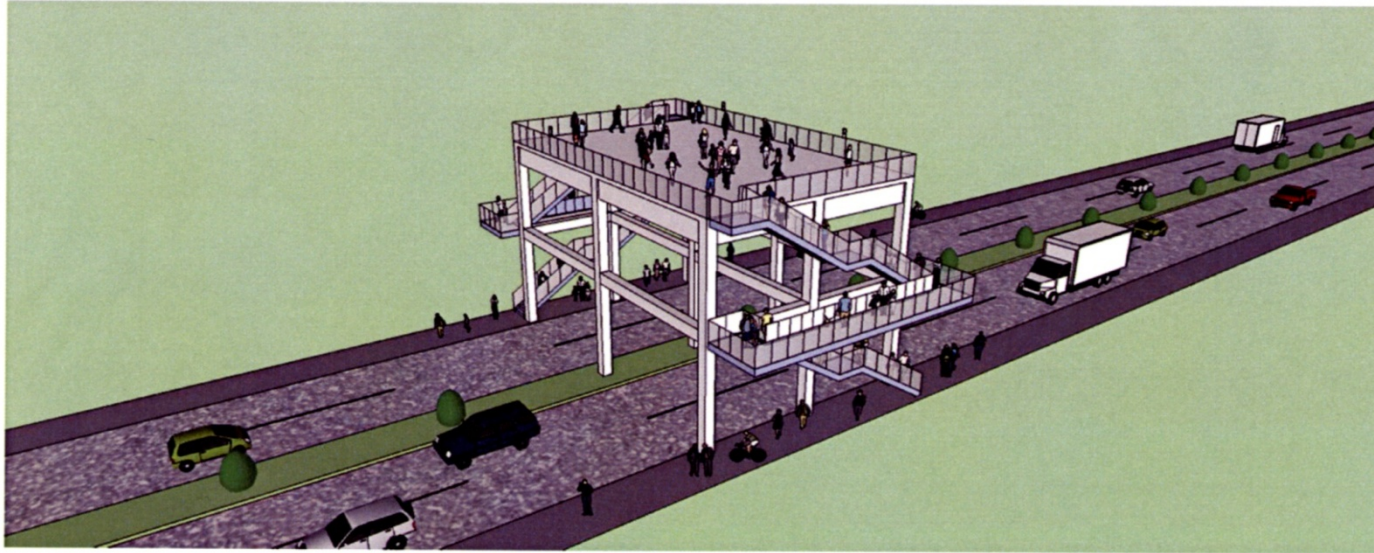
最重点課題を津波防災対策におくこととし

「津波防災まちづくり」を強力に推進！！

1. 「津波避難計画(案)」の策定
2. 「津波防災まちづくり計画(仮称)」の策定
  - 町の津波防災(減災)にかかる中・長期ビジョンを明確化
3. 津波避難施設(津波避難タワー等)の建設
  - 平成24年度⇒津波避難タワー 3基建設
4. 避難路の整備、漁港周辺の津波堤の整備  
防災公園や防災拠点の整備等・・・
5. 都市防災総合推進事業を活用したハード・ソフト  
両面による減災対策
6. 海岸防潮堤・河川堤防嵩上げの要望

※平成24年度当初予算 津波防災等事業 978,559千円

# 津波避難タワー イメージ図 (あくまでもイメージです！)



イメージパース1

イメージパース2

